様式２

事業実施計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 |  | 事業費 | 千円 |
| 事業の目的 | 該当するSDGsのゴール： |
| 事業の内容（事業実施箇所・実施方法） |  |
| 事業の実施スケジュール |  |
| 想定する新規参加者 |  |
| 新規参加者の募集方法 |  |
| 地域塾の内容（予定） | 第１回 |  |
| 第２回 |  |
| 第３回 |  |
| 第４回（第５回以上開催する場合は適宜追加） |  |

※１　事業内容が確認できる資料（既存の事業計画、写真、図面等）があれば添付してください。

※２　各記入欄の幅は適宜、変更していただいて結構です。

様式２

記入例

事業実施計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 農産物○○の再利用化事業 | 事業費 | △△△千円 |
| 事業の目的 | 該当するSDGsのゴール：⑧成長・雇用、⑫生産・消費（本事業の目的について具体的に記載すること）この事業では、現在栽培している農産物○○の商品として売れなかった廃棄する部分を活かし、新たな商品を企画・商品化し、販売する。 |
| 事業の内容（事業実施箇所・実施方法） | （事業の最終目標を明記した上で、地域塾で取り組む内容について具体的に記載すること）この事業の最終目標は、廃棄予定の農産物○○を使った新たな商品を生み出し、販売することである。そのため地域塾では、商品開発に伴うアイデアのブラッシュアップや、販路の確立方法、パッケージのイラスト考案など、商品開発・販売にあたり、必要なことを学ぶ。具体的には、実際に成功している農家××さんを講師に招いたり、商品開発を行う勉強会を開いたり、デザインを作成したりする。アイデアやノウハウを得た後は、実際に商品を作り、販売する。塾生には、同様の悩みを持つ農家や、農業に従事していなくても各分野で特技を活かすことができる人を集め、活躍の場を提供する。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、オンライン開催か場所を借りて開催か判断する。 |
| 事業の実施スケジュール | （事業の実施スケジュールを記載すること）　令和4年度以降に実際に商品の販売をし、収益を確保していく。場合によっては、ＮＰＯ法人を設立したり、地域塾で構築されたネットワークも活かしながら新たな農産物とコラボ企画もしたりするなど、発展させていきたい。 |
| 想定する新規参加者 | （どのような新規参加者を想定しているか記載すること）　・農家に従事し、同様の悩みを抱える人　・商品開発や販売、デザインなどに興味がある人 |
| 新規参加者の募集方法 | （どのように新規参加者を募集するか記載すること）　・農業関係者に声をかける　・ＳＮＳ上で呼び掛ける |
| 地域塾の内容（予定） | 第１回 | 1. 事業の計画・最終目標等の共有
2. 課題、今後の取組の整理
3. メンバーの役割分担
4. 商品のアイデアを出し合う
 |
| 第２回 | 1. 他の農産物を二次販売している××さんを招待し、話を聞く
2. 商品の方向性を決める
 |
| 第３回 | 1. コラボを考えている農産品生産者と勉強会
2. 試作品を作り、試食会を開催
3. 新たなメンバーの参画
 |
| 第４回（第５回以上開催する場合は適宜追加） | 1. 販売方法・場所の模索
2. パッケージのデザインなどを決める
3. 販売に向けて最終調整を行う
 |

※１　事業内容が確認できる資料（既存の事業計画、写真、図面等）があれば添付してください。

※２　各記入欄の幅は適宜、変更していただいて結構です。